

ADB主催のCAREC諸国向け省エネ推進ロードマップ検討会に参加しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、アジア開発銀行（ADB:Asian Development Bank）の委託を受けて、2018年1月9日～12日にフィリピンのマニラにて、ADB内のCAREC(中央アジア地域経済協力)* 諸国向け省エネルギー推進ロードマップ作成の検討会に参加しました。

* CAREC (The Central Asia Regional Economic Cooperation) : 加盟国は、アフガニスタン、アゼルバイジャン、中国、ジョージア、カザフスタン、キルギス、モンゴル、パキスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタンの11カ国。ADBが事務局。



ADB内での講演（ECCJ）

本検討会でECCJは、ADBのCAREC諸国省エネルギー推進ロードマップ（CAREC High Technology Roadmap）に関するレポート作成を支援するために、省エネの重要性及び省エネ推進策、省エネ後発国向けの省エネ推進計画作成用ロードマップ、CAREC諸国に適用できる省エネ技術・設備とそれらの日本における適用優秀事例等について紹介し、高い評価を受けました。ADBからECCJには、CAREC諸国向け省エネ推進プロジェクトに係る、コンサル業務を中心としたパートナー就任要請があり、今後検討していくことにしています。